



第2回九州大学ビジネスプランコンテストの開催について

九州大学では、2018年11月18日（日）に「第2回九州大学ビジネスプランコンテスト」を開催いたします。

本コンテストは、九州大学の学生（院生含む・教員応募可）を対象としたビジネスプランコンテストです。未来の起業家が独自のビジネスアイデアを事業計画書に落とし込み、プランの実現と起業を目指します。予選を通過した8チームのビジネスプランを発表させていただき、出場チームには、協賛企業より、起業するための様々な支援が用意されております。

- 主 催： 国立大学法人 九州大学
- 協 力： 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
Fukuoka Growth Next

- 協 賛： 西日本鉄道株式会社／株式会社NTT ドコモ／株式会社西日本新聞社／株式会社QTnet
／西部ガス株式会社／株式会社J&J 事業創造／株式会社AGS コンサルティング／株式会
社西部技研／九州旅客鉄道株式会社／株式会社FFG ベンチャービジネスパートナーズ／
損害保険ジャパン日本興亜株式会社／株式会社ディープコア／fabbit 株式会社／凸版
印刷株式会社／ニッセイ・キャピタル株式会社

- 後 援： 福岡県／福岡市／福岡地域戦略推進協議会／一般社団法人九州経済連合会／一般財団法人九州地域産業活性化センター／経済産業省九州経済産業局／九州ニュービジネス協議会／中小機構九州／福岡商工会議所／日本経済新聞社西部支社／株式会社西日本新聞社／NHK 福岡放送局／福岡放送／テレビ西日本／RKB 毎日放送／九州朝日放送／TVQ九州放送

- 事 務 局： 九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター

- 開催日時： 2018年11月18日（日）13時～17時30分
- 開催場所： Fukuoka Growth next 1階 イベントホール
- 賞 賞： 優勝、準優勝、NEDO 賞(TCP2 次予選会出場権及び各種支援)、協賛企業賞

詳細につきましては別添資料をご覧ください。

なお、報道関係者の皆様もご来場いただけます。ご来場の際は、12時～13時の間に Fukuoka Growth next 1階イベントホールの受付へお越しください。

【お問い合わせ】

学術研究・産学官連携本部 ベンチャー創出推進グループ
准教授 熊野正樹
電話：090-6989-8188
Mail：kumano@airimaq.kyushu-u.ac.jp



九州大学



九州大学発・学生ベンチャーの創出



PROGRAM

2018年11月18日(日) 13時~17時30分

Fukuoka Growth Next

文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

The 2nd KYUSHU UNIVERSITY BUSINESS PLAN CONTEST

主 催



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

協 力



協 賛

Gold Sponsor

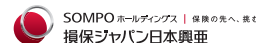


Silver Sponsor



株式会社 J&J 事業創造

Bronze Sponsor



NISSAY CAPITAL CO.,LTD.

第2回 九州大学ビジネスプランコンテスト

- 主 催 国立大学法人 九州大学
- 協 力 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) / Fukuoka Growth Next
- 協 賛 西日本鉄道株式会社 / 株式会社 NTT ドコモ / 株式会社西日本新聞社 / 株式会社 QTnet / 西部ガス株式会社 / 株式会社 J&J 事業創造 / 株式会社 AGS コンサルティング / 株式会社西部技研 / 九州旅客鉄道株式会社 / 株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ / 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 / 株式会社ディーブコア / fabbit 株式会社 / 凸版印刷株式会社 / ニッセイ・キャピタル株式会社
- 後 援 福岡県 / 福岡市 / 福岡地域戦略推進協議会 / 一般社団法人九州経済連合会 / 一般財団法人九州地域産業活性化センター / 経済産業省九州経済産業局 / 九州ニュービジネス協議会 / 中小機構九州 / 福岡商工会議所 / 日本経済新聞社西部支社 / 株式会社西日本新聞社 / NHK 福岡放送局 / 福岡放送 / テレビ西日本 / RKB 毎日放送 / 九州朝日放送 / TVQ 九州放送
- 事 務 局 九州大学 ロバート・ファン / アントレプレナーシップ・センター

問い合わせ先 九州大学 学術研究・産学官連携本部 ベンチャー創出推進グループ
准教授 熊野正樹
kumano@airimaq.kyushu-u.ac.jp
092-832-2168 (直通)

<http://qrec.kyushu-u.ac.jp/>



About Kyushu University Business Plan Contest

本コンテストは、九州大学の大学生(院生含む)を対象としたビジネスプランコンテストです。

未来の起業家である学生が考えた独自のビジネスアイデアを事業計画書に落とし込み、プランの実現と起業を目指します。

プログラム Program

- 13:00— 開会挨拶
- 13:15— 審査員紹介・審査基準発表
- 13:25— ファイナリスト4チームの発表
(プレゼン5分、質疑応答7分、起業への思い1分)
- 14:30— 休憩(10分)
- 14:40— ファイナリスト4チームの発表
- 15:50— 休憩(10分)
- 16:00— 基調講演
坂本 剛 (QB キャピタル合同会社 代表パートナー)
※審査委員は別室にて審査
- 16:50— 審査発表・表彰式
- 17:20— 閉会挨拶
- 17:30— 終了

基調講演 Keynote Speech



坂本 剛 Tsuyoshi SAKAMOTO

QB キャピタル合同会社 代表パートナー

1989年九州大学工学部生産機械工学科卒業。大企業・中小企業・ベンチャー企業を経験し、2004年1月から九州大学知的財産本部において大学発ベンチャー支援、インキュベーション活動を行う。2010年4月から(株)産学連携機構九州代表取締役就任し、新たな産学連携ビジネスの開発を推進。2015年4月にQBキャピタル合同会社代表パートナーに就任し、九州地域の大学発ベンチャーを支援するファンド「QBファンド」の運営を開始。現職のほか、福岡ベンチャークラブ理事、Kyulux(投資先:九州大学発ベンチャー)社外取締役、ひむかAMファーマ(投資先:宮崎大学発ベンチャー)社外取締役、エディア(H28.4マザーズ上場)社外取締役等を務める。

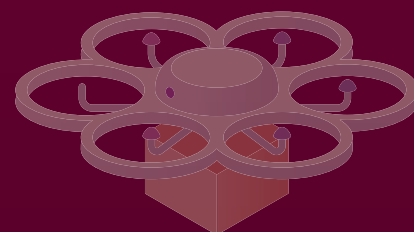
賞 Awards

優勝

準優勝

NEDO賞(TCP2次予選会出場権及び各種支援)

協賛企業各賞



ファイナリスト Finalists



problock

小学生向けプログラミング玩具の開発・販売

メンバー

松本(工3)/阿部(工3)/村川(工3)/富田(芸1)

我々は、レゴブロックのような物理的なブロックを繋ぐことで簡単にプログラミングを学べるスマート玩具の開発・販売を行う。ターゲットは小学生であり、我々の製品でプログラミングのスキルの他に問題解決力と逆算思考力も培うことができる。本事業により、非常に困難であった「自宅で小学生が自主的にプログラミングを学ぶ」ことを可能にして大きな市場を獲得する。



Healtz

オンライン・ファーマシー事業

メンバー

松原(薬D1)/徳丸(工2)/山内(経M1)

本ビジネスは、オンライン上で顧客と薬剤師とマッチングさせ、ビデオ対話による健康相談と情報提供を通して、各人に適切な市販薬・健康食品・サプリメントを推奨するサービスを行う。同一プラットフォームで、医薬品等の購入、利用者の相談内容・健康情報の管理までを一元的に完結させる。本ビジネスにより、人々が正しいヘルス・リテラシーを獲得し、セルフメディケーションを基本とする世界を作る。



WPS

ワイヤレス給電式の体内植込み型医療機器の開発・販売

メンバー

成重(工3)/今福(経1)/大森(工1)/橋爪(農1)/平澤(経1)

ペースメーカーなどの体内植込み型医療機器を利用している患者は、機器の電池に寿命があるために数年に1度、機器そのものの交換手術が必要であり、精神及び身体の大きな負担となっている。そこで我々が開発し、医療施設に販売するのは体外から充電するというものであり、その交換手術を無くすことができる。それにより患者の心身の負担、手術費・入院費の負担、手術が原因の感染症に対する不安、国の医療財源の負担を大幅に減らすことができる。



MOFilt

日本酒のえぐみ除去フィルターの開発と販売

メンバー

河口(工M1)/大坪(理D2)/今津(経1)/岡本(工1)/高岡(経1)/川端(工D3)

我々は九州大学の特許技術を用いた「日本酒の老香(ひねか)除去フィルター」の開発を行う。本事業では日本酒に対する「ボトルキープができない」という認識を覆し、長期保存可能な日本酒を提供できる。居酒屋や一般家庭、さらに輸出用の日本酒で使用されることを想定しており、当フィルターを販売することによって収益を得る。



PLACTHICS

浅海底3D マップによる情報提供事業

メンバー

田村(工2)/富田(芸1)/松本(農1)/ボン(工1)/松下(芸1)

海のレジャーを楽しむ人、特にダイビングをする人たちに、海レジャーの安全性を高め、さらにまだ活かされていない海の観光資源を掘り起こすために、浅海底の3D地図を用いた海の正確な情報と、同じ趣味を持った人々が繋がるプラットフォームサービスを提供するアプリケーションの開発をするビジネス。



nanoFreaks

半永久稼働可能な紛失防止シールと位置管理アプリの開発・販売

メンバー

千葉(理M1)/中村(経済3)/成田(芸3)/高倉(経1)

大切なものを紛失したくない人々に、その不安を、「半永久稼働可能な紛失防止シールと位置管理アプリの開発・販売」によって完全に解消する。既存品はバッテリー式(約一年稼働)であり、本質的に不安を解消できていない。そこで、九州大学特許技術のワイヤレス給電技術を用いて上記課題を完全に解決する。



OptiWave

脳波計を用いた集中度マネジメントシステムの開発と提供

メンバー

竹内(生M2)/安田(経4)/内海(理3)/尾木(工2)/
小山(理1)/小出(経1)/吉田(経1)

我々は、受験を控えた高校生に対し、脳科学を用いた集中度数値化/マネジメントシステムを全国の既存の塾、予備校の自習室を通して提供する。本事業によって、学習者が集中度の変化を数値で理解でき、集中度が低い原因や高くできる学習方法/環境を調整できるようにし、集中が続き勉強が捗らないという課題を解決する。



GAiTE

次世代の生体認証を用いた利便的・高度物理セキュリティシステムの提供

メンバー

吉野(工4)/北井(経3)/赤瀬(経1)/山内(経M1)

歩き方と容姿による、次世代の生体認証である「歩容認証」を用いて、利便的かつ高度な物理セキュリティソフトウェアの開発・提供を行う。私たちの最終目標は、この技術を用いたシステムを社会に浸透させ、日本・世界の物理セキュリティレベルを引き上げることである。収益はセキュリティシステムのソフトウェアを提供し1年ごとに使用料を頂く。

審査員

Panel of Judges



東 博暢

審査委員長

株式会社日本総合研究所 プリンシパル
Hironobu AZUMA

大阪府立大学大学院工学研究科（現：電子・数物系専攻）修士課程修了。2006年日本総合研究所入社。情報通信分野（ICT）を中心に、PMI、新規事業策定支援、社会実証実験を通じた法制度改正・ガイドライン策定支援等のコンサルティング/インキュベーション活動実施している。ICT 融合領域として、FinTech、メディカル・ヘルスケア、都市開発（スマートシティ）、サイバーセキュリティ、教育等、幅広く対象としている。

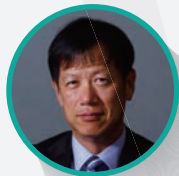


浮城 智和

株式会社ベガコーポレーション 代表取締役社長
Tomokazu UKISHIRO

1976 年福岡県北九州市生まれ。輸入家具の貿易商社での経験をもとに 2004 年に家具・インテリアを EC で販売する有限会社ベガコーポレーション（現当社）を設立。「LOWYA」を主軸に多店舗展開し、楽天、Yahoo! ショッピングの大手モールで数々の賞を受賞。

実店舗を持たずネット専業とし、商品の企画・開発・物流までを自社で完結させる一気通貫のビジネスモデルにより順調に事業を拡大。2016 年度には東証マザーズへの上場を果たす。また越境 EC プラットフォーム（DOKODEMO）、家具プラットフォーム（Laig）の 2 つの新規事業展開している。



隈 扶三郎

株式会社西部技研 代表取締役社長
Fumio KUMA

昭和 62 年 株式会社西部技研入社。平成 2 年 米国ニチメン会社出向。平成 14 年 4 月より同社代表取締役。平成 21 年 経済産業省より第 3 回ものづくり日本大賞優秀賞受賞。平成 26 年「グローバルニッチトップ企業 100 選」（経済産業省）選定。平成 27 年「ダイバーシティ経営企業 100 選」（経済産業省）選定等。平成 26 年藍綬褒章（経営革新功績）受章。平成 28 年在福岡スウェーデン名誉領事 等。



倉林 陽

Draper Nexus Managing Director
Akira KURABAYASHI

富士通及び三井物産にて、日米のベンチャー企業への投資、及び投資先の事業開発を担当。MBA 留学後は、Globespan Capital Partners および Salesforce Ventures にて日本投資責任者を歴任。2015 年 3 月より現職。現在チームスピリット（東証マザーズ 4397）、マネーフォワード（東証マザーズ 3994）、サイカ、フロムスクラッチ、toBe マーケティング、UPWARD、モビング、カケハシ、マツリカ、トレンド Express、オクトの社外取締役を務め、FOLIO、フレクト、リフカムの取締役会オブザーバーを務める。同志社大学博士（学術）、ペンシルバニア大学ウォートンスクール経営大学院修了。著書「コーポレートベンチャーキャピタルの実務」（中央経済社）



佐藤 時夫

西部ガス株式会社 理事 関連事業部長
Tokio SATO

福岡県出身。西部ガス株式会社入社後、10 年以上に亘り、企業の M&A や事業再生に従事。現在は関連事業部にて、関係会社の統括・管理・経営支援及び新規投資案件を担当。



佐藤 良一

西日本鉄道株式会社
事業創造本部 新規事業推進部 部長
Ryoichi SATO

西鉄運輸株式会社 代表取締役社長、西鉄プラザ株式会社 代表取締役社長を歴任し、2018 年 4 月から西日本鉄道株式会社 事業創造本部 新規事業推進部 部長兼株式会社 NJ アグリサポート 代表取締役社長に就任（現職）



高橋 徹

株式会社 AGS コンサルティング 福岡支社長
Toru TAKAHASHI

1998 年 KPMG ビートマーウィック（現 KPMG 税理士法人）入社。国際事業コンサルティンググループにて日系多国籍企業に対するコンサルティング業務に従事。2003 年の日本風力開発株式会社の東証マザーズ上場をかわきりに IPO 支援に多くの実績を有する。M&A、事業承継、企業再生、国際税務などの多くの専門領域を持ち、ベンチャー企業の収益拡大施策立案実行・チーム構築・資本政策にも強みを有する。



田中 保成

Fukuoka Growth Next 運営事務局長
Yasunari TANAKA

三菱商事(株)、ボストン・コンサルティング・グループを経て、2001 年以降 15 年間にわたり、複数のプライベートエクイティファンド管理会社でパイアアウト投資業務に従事。投資先の非常勤取締役として、豊富な経営サポート経験を有する。2016 年より APAMAN に入社。2017 年より現職。

ハーバード・ビジネス・スクールにて MBA 取得。



中島 英隆

株式会社 QTnet
サービス開発部 サービス企画グループ グループ長
Hidetaka NAKASHIMA

大学卒業後、全国系通信キャリアのネットワーク技術者として学術系ネットワークや金融系ネットワーク構築プロジェクトなどに従事。

2008年にQTnetに入社し、基幹ネットワーク設計など前職に引き続きネットワーク技術者として従事後、社内人事処遇制度改革プロジェクト、社内中期事業計画策定、自治体セキュリティクラウド構築など様々なプロジェクトにもプロジェクトマネージャーとして従事。

2018年4月からIoTなども含めた新規事業・新サービス企画・開発に従事中。



永田 達哉

株式会社 DEEPCORE
Director, Program Management
Tatsuya NAGATA

東京大学理学部数学科で数学(数論)を専攻。INSEADにてMBA(経営学修士)取得。複数の外資系コンサルティング会社、財務アドバイザー会社にて、医薬品、製造業、メディア、アパレル、官公庁など多様な業界における事業戦略の立案、業務改革、M&AのFA業務に従事。2017年よりDEEPCOREに参画。



西濱 洋介

株式会社 J&J 事業創造 取締役開発副本部長
Yosuke NISHIHAMA

1995年慶應義塾大学文学部卒、同年ジェーシービー(JCB)へ入社。同社営業推進部、市場開発部、業務本部、システム本部を経て、2015年システム企画部長に就任。2016年総合企画部長を務めた後、2018年3月にJCBとJTBの合併会社である(株)J&J事業創造へ出向。同年4月より現職。



畑 浩史

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
スタートアップ事業開発 プリンシパル
Hiroshi HATA

1997年日本IBM入社、ITアーキテクト、テクニカルセールスとして大手通信会社の新規プロジェクトに参画。2006年アイチケット(現エムスリー子会社)の創業メンバー。事業開発、セールス・マーケティング担当執行役員として事業立上げ・推進。2010年ミスミグループ本社入社、事業統括ディレクターとしてEC新事業の立上げ・推進。2013年AWS Japan入社、スタートアップ事業開発の責任者としてスタートアップ支援を行う。直近ではスタートアップ支援施設、AWS Loft Tokyoの立上げ・推進。



東 陽一郎

株式会社西日本新聞社
ビジネス開発局 ビジネス開発部 部長
Yoichiro HIGASHI

熊本県出身、経理や経営企画で財務、予算管理などを担当、子会社整理やグループ経営管理にも携わる。豆吉郎買収などM&A案件も支援、2016年よりグループ間接業務改革を担当し2018年8月より現職。ビジネス開発部では、ベンチャーやスタートアップ企業対し協業や投資などを様々なバリエーションを検討することで、幅広く新規事業開発を推進している。



村田 裕紀

アイ・ケイ・ケイ株式会社 執行役員 経営管理部長
Hiroki MURATA

福岡市出身、九州大学経済学部卒。三井銀行(現三井住友銀行)入社後、約30年の勤務で国内外の融資、上場支援業務等に従事。複数の支店長を経て、2016年より、アイケイケイ株式会社に転籍。海外子会社、関係会社も含め経営企画・管理業務及び、新規投資案件に携わる。



吉田 剛

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
統括主幹
Takeshi YOSHIDA

1991年NEDO入構。1995-96年スタンフォード大学客員研究員(EMF)、2004年早稲田大学国際経営学専攻MOTプログラム経営学修士(MOT)、2008-11年NEDOニューテリー事務所長、2013-15年スマートコミュニティ部主幹、2015-18年総務部総務課長。2018年10月からイノベーション推進部において、ベンチャーの技術開発助成等の起業家支援業務に携わる。

